科目ナンバリング	U-LAS00 10010 LJ34						
授業科目名<英訳>	西洋社会思想史II History of Western Social Thought II			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 松本　啓二朗		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	哲学・思想(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	月2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

西洋の歴史において「社会」はどのように考えられてきたのか。そして、現代の日本に生きるわれわれは「社会」をどのように考えるべきなのか。授業では、近現代の代表的な思想家の著作からの抜粋を解読しながら、この二つの問いを探究していく。

[到達目標]

・西洋社会思想史（18世紀頃から現代まで）の基礎知識を身につける。
・歴史的な厚みをもって「社会」について考えることができるようになる。

[授業計画と内容]

本講義（II）では、導入的な話のあと、近現代に現れた社会思想を検討していく。
第1回　導入――共同存在としての人間への問い
第2回　古代から18世紀頃までの西洋社会思想
第3回　ロック（1）
第4回　ロック（2）
第5回　ルソー（1）
第6回　ルソー（2）
第7回　アダム・スミス（1）
第8回　アダム・スミス（2）
第9回　カント（1）
第10回　カント（2）
第11回　ヘーゲル（1）
第12回　ヘーゲル（2）
第13回　マルクス（1）
第14回　マルクス（2）
最終回　フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

授業では毎回課題を出す。成績は、「授業への参加態度」（40%）と「課題に対する回答」（50%）、ならびに学期末の「レポート」（10%）によって評価する。詳細は初回講義時に説明する。

[教科書]

授業で使う資料は、コピーを配布する。

西洋社会思想史II(2)へ続く↓↓↓

西洋社会思想史II(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業で扱う資料を必ず読んでくること。十分な予習が必要である。

[その他（オフィスアワー等）]

原典を読みながら考える。そのなかでさまざまな問いを見つけ出して、さらに考える。大人数の講義形式の授業ではあるが、できる限りそのようなことを行って、知識の習得にとどまらない思想的な知の営みを経験してほしいと思っている。

適正授業規模の範囲内で行うため、履修人数制限を行う。

[主要授業科目（学部・学科名）]